

【LinkedIn 独自調査】

仕事で AI を活用している日本人はわずか 19%

一方で将来 AI が仕事に役に立つと 64%が考えていることが明らかに

ビジネスに特化した世界最大のプロフェッショナルネットワークである LinkedIn(リンクトイン、日本法人所在地：東京都千代田区、日本代表：田中 若菜)は、AI に対する消費者の意識を明らかにする消費者調査を実施しました。本調査は、日本を含む世界 18 カ国で 16 歳以上の就労者約 30,000 人を対象に行われ、日本では 1,518 人を対象に調査が実施されました。調査の結果、世界全体では生成 AI による新たなテクノロジーの進歩により、人々は AI などを活用した新たな働き方に向けて準備を進めていることが分かりました。また、64%の日本人は、AI が仕事において将来は利益をもたらすと考えていることも明らかになりました。

■ 仕事での AI 使用率日本は約 19%

すでに仕事で AI を使用しているかを調査したところ、インドネシア (71%)、インド (68%)、ブラジル (58%)、サウジアラビア (58%)、米国 (58%) が「使用している」と回答している中、日本は約 5 人に 1 人(19%)と回答しました。使用率が少ない結果となったものの、仕事に AI を活かす方法の学び方に対する調査に対して、日本では約半数 (45%)¹が「仕事に AI を活かす方法を学びたいが、どうすればいいのかわからない」と回答しており、わからないながらも、AI を学びたいという気持ちがあるということがわかりました。

■ 今後の AI の導入には各分野で、ある一定の期待を示し、キャリアアップには役立つと考えている結果に

日本のどの分野で AI の導入が進むことを期待しているのかに対しては、IT / 通信 (35%)、医療 (33%)、輸送/物流 (31%)、製造 (30%)、金融 (30%) と各分野で 3 割程度と業界限らずある一定の期待をしていることがわかりました。

AI は、どのような形でキャリアアップに役立つと思うかについての調査では、「何らかの形で役立つ」(64%)と考えることがわかりました。理由としては、「自分に必要なスキルやトレーニングを教えてくれる」(27%)、「知識や洞察をすぐに手に入れることができるため、仕事に対する自信が高まる」(25%)「付加価値のある仕事に集中できるため、早く昇進できる」(16%)などと回答しており、キャリアアップに期待している結果になりました。

■ AI スキルと合わせて対人スキルも重要に

職場で AI ツールが広く使用されるようになると、どのスキルの重要性²が高まるかという質問については、「問題解決能力」(43%)、「時間管理能力」(42%)、「適応力/回復力」(42%)という結果になりました。諸外国も同じく、問題解決能力(62%)、時間管理能力(61%)、回復力(60%)、戦略的思考(60%)と AI と相性が良いと思われるスキルの需要が高まっている結果となりました。

■ AI スキルを習得できる LinkedIn ラーニングの無料公開 10 コース

LinkedIn では e ラーニングのプラットフォーム「LinkedIn ラーニング」を通じて、オリジナル学習コースを会員向けに提供しており、多くの日本の企業でも従業員のアップスキリング、リスキリングのために導入されています。今回の調査に合わせ、日本のプロフェッショナルの皆さまのスキルアップに役立ててもらおうと、ビジネスに役立つ 10 コースを、12 月 15 日まで無料で公開しています。

1. [人工知能（AI）の基礎：機械学習](#)
2. [人工知能（AI）の基礎：ニューラルネットワーク](#)
3. [Nano Tips for Using ChatGPT for Business with Rachel Woods](#)
4. [What Is Generative AI?](#)
5. [Generative AI for Business Leaders](#)
6. [How to Research and Write Using Generative AI Tools](#)
7. [Get Ready for Generative AI](#)
8. [Next Generation AI: An Intro to GPT-3](#)
9. [GPT-4: The New GPT Release and What You Need to Know](#)
10. [プロジェクトマネージャーのための人工知能（AI）](#)

<調査概要>

2023年8月23日から2023年8月31日にかけて、調査実施国((イギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、シンガポール、インド、フランス、ドイツ、ブラジル、スペイン、サウジアラビア、オランダ、イタリア、インドネシア、フィリピン、マレーシア、アラブ首長国連邦、日本の18か国)の16歳以上の就労者計29,937人を対象にオンラインアンケート調査(第三者調査機関 Censuswide に委託。Censuswide は、ESOMAR の原則を遵守しており Market Research Society の会員を雇用しています)を実施。日本では計1,518人を対象に実施。

※小数点第一位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※本調査結果や分析をご掲載の際は『LinkedIn 調べ』と明記ください。

¹ 「とてもよく当てはまる」「やや当てはまる」の合計

² 「重要性がかなり高くなる」「重要性がやや高くなる」の合計

● LinkedIn について

LinkedIn は、世界 200 以上の国と地域に 9 億 5,000 万人以上のメンバーを有する世界最大のプロフェッショナルネットワークです。世界中のプロフェッショナルをつなげることで個人と組織の生産性を高め、さらなる成功に結びつけると同時に、企業における採用、マーケティング、営業などの分野に変革をもたらします。LinkedIn は、世界中で働くすべての人々に経済的なチャンスを作り出すことを目指しています。

<https://www.linkedin.com/>

● LinkedIn ラーニングについて

LinkedIn ラーニングは、各分野のエキスパートを講師に迎えた LinkedIn オリジナルの学習プログラムを提供する世界最大級のオンライン学習サービスです。13 か国語で 2 万を超えるコースがあり、このうち日本人講師による 1,200 コース以上のコースに加え、すべての英語コースに機械翻訳による字幕が導入されていることから、1 万を超えるコースを日本語で視聴することができます。受講者が身につけたいスキルを登録することで AI が受講者一人ひとりに最適なコンテンツを推奨する機能など、最新のテクノロジーによって受講者一人ひとりの学習をサポートします。

<https://learning.linkedin.com/ja-jp>